

Grand Toit News

vol. 31
Autumn 2012

グラントワニュース



企画展紹介

「近代美術の名品、揃って登場。」

劇場事業紹介

いわみ芸術劇場芸術監督に聞く

ヴェルディ「レクイエム」

●特集 文化芸術の秋、
グラントワを満喫しよう！

●「もうすぐ出番です！」 坂本頼光 (活動弁士)

イベントカレンダー 2012年10月～12月

10月7日(日)
きんさいデー開催！



横山大観《村童観猿翁》明治26年 東京藝術大学所蔵

展覧会担当の左近充直美専門学芸員にききました。

名品揃いの展覧会だと聞きワクワクしています。

日本近代美術史上よく知られる屈指の名品がこの石見の地に集結します。教科書などで一度は見たことがある作品もたくさん登場します。今回の展覧会の主要テーマである文豪、森鷗外と彫刻家、米原雲海はともに島根県出身。明治から大正にかけて同じ時代を生き、両者共に東京藝術大学の前身である東京美術学校で一時期教員をしていました。今回はその東京藝術大学大学美術館の所蔵作品のなかから、森鷗外と交友のあった画家

たちが描いた絵画作品、そして米原雲海と同時代の作家たちの彫刻作品を中心に展示します。これはすなわち日本近代美術の名だたる作家たちの作品が一堂に会するという事でもあります。今年には森鷗外生誕150周年という記念の年にあたるため、特に選りすぐりの名品がここ島根県立石見美術館だけで特別に公開されます。

東京藝術大学ってどんなところなのですか？

明治22年、日本美術の振興を目的に、アーネスト・F・フェノ

近代美術の名品、揃って登場。

ロサと岡倉天心らによって、我が国唯一の国立美術学校として上野に開校しました。第1期生のなかには横山大観、下村観山、大村西崖、六角紫水などの生徒がいました。開校当初、絵画科は日本画、彫刻科は木彫に限り、図案科は金工と漆工のみでしたが、のちに数を増やし、明治29年、西洋画科の新設で黒田清輝を教官に迎えるなど、美術教育の拠点としての基盤を築いていきます。東京美術学校は戦後に東京藝術大学と名称を変え、幾度か組織の変革をたどりながら、今日にいたるまで多くの芸術家や研究者、教育者などを輩出しています。



米原雲海《善那木型》明治30年 東京藝術大学所蔵

どういった作品が展示されるのですか？
おすすめの一点は、第1期生だった横山大観の卒業制作《村童観猿翁》。猿廻

の翁を師の橋本雅邦に見立て、11人の村童を同級生の幼な顔に似せて描いたというこの絵は、縦110cm、横180cmもある大作です。森鷗外とも交友があった大観は、学生時代から既にずば抜けた才能の持ち主であった事がわかります。大学では、開校時から最終学年の生徒達に卒業制作を義務づけてきました。これらは学業の集大成として力の入った作品が多く、大変見応えがあります。他にも歴代の教員の作品や当時資料として購入された美術史上重要な作品を数多く所蔵しており、本展では2点の重要文化財(浅井忠《収穫》・原田直次郎《靴屋の親爺》)を含む約100点を展示します。

もうひとつ注目点があるとか。

それは明治・大正当時の美術学校で学んだ島根県出身の作家達の在学・卒業時の絵画作品を展示し、今日まであまり表に出てくる事なかった郷土出身者の知られざる作品を発掘する事です。有名無名に関係なく、真摯に芸術に向かい合った若き作家たちの熱い想いにも注目してみてください。

記念講演会「収蔵庫探訪－藝大美術館のコレクション」

藝大美術館のコレクションの成り立ちや特色などをやさしくお話いただきます。

11月4日(日) 14:00～15:30
講師 | 薩摩雅登(東京藝術大学教授)
会場 | 講義室 申込不要/先着50名/聴講無料

澄川喜一によるスペシャル・ギャラリートーク

企画展「藝大展」と特別展「澄川展」のコラボ企画。東京スカイツリー®デザイン監修の彫刻家、澄川喜一によるここだけしか聞けない「藝大のはなし」作品のはなし。

10月6日(土)・7日(日)・21日(日) 各14:00～(約1時間程度)
講師 | 澄川喜一(当館館長・元東京藝術大学学長)
会場 | 展示室D・C 先着50名
※申込不要。ただし企画・コレクション展セット観覧券またはミュージアムパスポートが必要。

美術講座「藝大展いろは－絵にかくされたナゾ」

藝大展を楽しんでいただくために、出品作にかくされた秘話などを担当学芸員が楽しくお話します。

10月28日(日) 14:00～15:30
講師 | 左近充直美(島根県立石見美術館専門学芸員) 会場 | 講義室
申込不要/先着50名/聴講無料

この他にも会期中のイベントを予定しています。
詳細は別刷の展覧会チラシをご参照ください。

日本近代美術の名品展

企画展 東京藝大美術館所蔵
日本近代美術の名品展
—森鷗外と米原雲海を中心に—



黒田清輝《婦人像》明治29年 東京藝術大学所蔵

観覧料 | 当日券/一般:1,000(800)円、企画・コレクション展セット 1,150(920)円
大学生:600(450)円、企画・コレクション展セット 700(530)円
前売券/企画・コレクション展セット 900円

※()内は20名以上の団体料金。 ※神々の国生まれプロジェクトにより、高校生以下は入場無料。
※障害者手帳保持者および介助者は入場無料。
※前売券は、ロソン各店(コード61980)、主な旅行会社、各ブレイクガイドでお求めになれます。

主催 | 島根県立石見美術館、日本海テレビ、中国新聞社 協力 | 東京藝術大学大学美術館、東京藝術大学大学院文化財保存学専攻修復油画研究室 協賛 | ヤマトロジスティクス株式会社

東京藝大美術館所蔵

2012 10.6 sat >>> 11.26 mon

島根県立石見美術館

島根県芸術文化センター「グラントワ」内

開館時間 | 10:00～18:30(入館は18:00まで) 休館日 | 毎週火曜日

藝大の名品、揃って登場。

特別展
澄川喜一
彫刻展
「そりのあるかたち」

2012年
10月6日(土)
～12月24日(月・祝)

休館日: 毎週火曜日
島根県立石見美術館
展示室C

[料金] 一般:300(240)円
大学生:200(160)円
高校生以下無料

※()内は20名以上の団体料金。
※企画展と同日観覧する場合は、特別展観覧料が半額になります。
※障害者手帳保持者および介助者は入場無料。

「そりのあるかたち」
2007年

いわみ芸術劇場芸術監督に聞く ヴェルディ「レクイエム」

合唱指揮者でいわみ芸術劇場芸術監督の栗山文昭さんに、10月14日に開催される「新日本フィルハーモニー交響楽団 ヴェルディ『レクイエム』」について聞きました。



新日本フィルハーモニー交響楽団 ©K.MIURA

レクイエムとは

「祈ることは歌うこと」。この言葉を分かりやすく表わしている音楽が「レクイエム」です。

「レクイエム」とは、キリスト教の教会、とくにカトリック教会の「死者のためのミサ」を意味します。ミサとは、パン（キリストの体を表す）と葡萄酒（キリストの血を表す）を受けることを中心として、キリストの晩餐と受難を記念し、キリストとの交わりを確認する集会です。死者のためのミサで最初に歌われる「入祭の歌」では「Requiem eternam dona eis, Domine（主よ、永遠の安息を彼らに与えたまえ）」と歌われます。その冒頭の「Requiem（安息）」に由って、「死者のためのミサ」を「レクイエム」と呼びます。

わが国では「レクイエム」をよく「鎮魂曲」と訳しますが、「鎮魂」とは「荒らぶる魂を慰め

鎮め、死の穢れを祓う」という日本の神道の考え方で、キリスト教の死生観とは根本的に相容れません。キリスト教での「死」とは、決して忌むべきものでも、恐れるべきことでもなく、再生して天の国に召される希望と期待と確信に満たされたものです。「人間が死と向きあった音楽」と言えるでしょう。

そして、近現代になって「レクイエム」は教会を出て、より劇的なもの（パルリオーズ、ヴェ

ルディ、プリテンなどの作品）、あるいはすでに言葉から離れたもの（武満徹の弦楽のためのレクイエムなど）に広がりを見せています。

グラントワでの公演にあたって

すでに当劇場のフランチャイズ合唱団であるグラントワ合唱団が演奏した、モーツァルト、フォーレとこのヴェルディの作品は3大レクイエムと言われます。グラントワ合唱団にとっても、これら大曲の演奏に取り組むことは、彼らの音楽性を高める絶好の機会です。まるでオペラを観ているかのようなドラマチックな響きが、グラントワの大ホールをも楽器として皆様が味わったことのない感動に引き入れてくれるでしょう。期待が高まります。

【いわみ芸術劇場芸術監督 栗山文昭】

新日本フィルハーモニー交響楽団 ヴェルディ「レクイエム」

10月14日(日) 開場 18:00 / 開演 18:30
いわみ芸術劇場大ホール

【入場料】S席(指定) 5,000円ほか
※未就学のお子様のご入場はご遠慮願います。
※詳しくはホームページをご覧ください。

ソリスト福島明也さんからのメッセージ

島根と東京を音楽が結ぶ。島根の西に日本が誇る素晴らしいホールがあり、そこに栗山文昭先生率いる素晴らしい合唱団がいる。新日本フィルハーモニー交響楽団を迎えて、この地で音楽を奏でる。夢が実現する。東京でも中々できない事を、グラントワで、地元でできる。島根に生まれ育ってこんなに嬉しいことはない！心が踊る！演奏する曲は魂を鎮める「レクイエム」なのだが…。



福島明也

LIFE with グラントワ

グラントワという場を得て

益田市文化協会は9部門60団体で構成される集まりで、今年設立30周年を迎えた。30年の歴史の中で、グラントワができたことは協会にとって大きな節目となった。グラントワができる以前は所属団体それぞれが単独で活動発表を行っていたが、グラントワ開館を前に、文化協会として今後の在り方の模索が始まった。その結果の一つとして、多部

門が一堂に会する総合フェスティバル形式での活動発表は、まさにグラントワという活躍の場を得たことにより実現したものである。

また、能楽に関して言えば、グラントワの開館によりこれまで行ってきた新能、室内能に加えて、室内能では初めての蠟燭能を9月に開催することとなった。地方での能楽開催は困難なものであるが、松江市能楽三流派の流友出演や能面展の開催など、より多くの方に楽しんでいただけるよう企画を練った。中世・室町の文化に思いを馳せ、存分に堪能していただきたい。

【益田市文化協会会長 中野 博】

PICK UP EVENT



東京国立近代美術館フィルムセンター提供

新藤兼人追悼 「裸の島」上映

第21回しまね映画祭益田会場

※上映情報は下部広告をご覧ください

今年5月に満100歳で逝去された映画監督、新藤兼人。グラントワでは同氏の最新作にして遺作となった「一枚のハガキ」を1月に上映したところ、大きな反響を呼びました。同氏逝去に際し追悼の意をこめて1960年に公開された「裸の島」を上映します。台詞のない映像と、林光氏による美しい音楽。国内外で13の賞を受賞した、同氏の代表作のひとつです。この他、10月の第21回しまね映画祭益田会場では、戦後の混乱を乗り越え、復興の時を迎えた日本に生きる様々な家族や夫婦の姿を描いた作品を上映します。

劇・場・を・探・る



舞台道具シリーズ

【開き足】

雑壇を組む際、様々な高さを演出するために使用されるのが「開き足」です。開き足は折り畳み式の脚材で、グラントワには高さが6寸、1尺6寸、2尺6寸のものがあり、平台を乗せた時に1尺から3尺の高さが組めるようになっています。横幅も平台の寸法に合わせて3尺幅と4尺幅となっています。※1寸=約3cm、1尺=約30cm

今回の舞台道具は【ホリゾント幕】

アンジェラ・アキ

Concert Tour 2012-2013

BLUE

8月26日(日)
チケット発売

グラントワ初公演!

NHK全国学校音楽コンクール中学校の部の課題曲として書き下ろされた「手紙～拝啓 十五の君へ～」が大ヒットしたアンジェラ・アキ。7月にリリースされたNEWアルバム「BLUE」を引っさげ、2台のピアノを中心とした特別バンド編成で、新しい曲から誰もが聴きたいあの曲まで、納得の選曲をお届けします。爽やかな歌声で多くのファンに支持される彼女のライブをどうぞお楽しみください。

2012年
10月26日(金)

いわみ芸術劇場大ホール
開場17:30 / 開演18:30

入場料【全席指定・税込】
6,900円【会員 6,500円】
立見 6,400円【会員 6,000円】
※立見は指定席売後、40枚限定販売。
※未就学のお子様のご入場はご遠慮願います。

Grand Toit Theater

グラントワ
シアター

しまね映画祭益田会場

チケット発売日
9月8日(土)

平成24年度文化庁優秀映画鑑賞推進事業 《高度経済成長期の名監督・名優シリーズ》

■入場料
【1日券】 一般:500円 / 会員:400円
子ども:300円 ※3歳～小学6年生以下

【裸の島】

10月4日(木) 開場 12:30 / 開演 13:00～
10月5日(金) 開場 18:30 / 開演 19:00～
【製作年】1960年 【監督】新藤兼人 【出演】乙羽信子、殿山泰司ほか
近代映画協会・96分

【名もなく貧しく美しく】

10月4日(木) 開場 14:40 / 開演 15:00～
【製作年】1961年 【監督】松山善三 【出演】高峰秀子、小林桂樹ほか
東京映画・128分

【お早よう】

10月5日(金) 開場 12:30 / 開演 13:00～
【製作年】1959年 【監督】小津安二郎 【出演】佐田啓二、久我美子ほか
松竹(大船)・94分

【煙突の見える場所】

10月5日(金) 開場 14:40 / 開演 15:00～
【製作年】1953年 【監督】五所平之助 【出演】田中絹代、上原謙ほか
新東宝=スタジオ8プロ・108分

■開催日 2012年10月4日(木)・5日(金)・6日(土)

■会場 いわみ芸術劇場 小ホール

【主催】しまね映画祭実行委員会 / 文化庁
東京国立近代美術館フィルムセンター
【協賛】株式会社衛星劇場 【協力】株式会社オーエムシー

【しあわせのパン】

■入場料
一般:【前売】1,000円 / 【当日】1,200円(友の会会員は各200円引)
子ども:500円 ※3歳～小学6年生以下

10月6日(土)
開演 ①10:00～ ②14:00～ ③18:30～ ※開場は各30分前
【製作年】2011年 【監督】三島有紀子 【出演】大泉洋、原田知世ほか



2011/日本/114分
東京から北海道の月浦に移り住み、湖が見渡せる丘の上でパンカフェ「マーニ」を始めた夫婦、りえさんと水橋くん。そこには、日々いろいろなお客さまがやってくる。さまざまな想いを抱いて店を訪れた彼らが見つけた、心の中の「しあわせ」とは？ マーニを訪れる人々の人生を四季の移ろいとともに見た物語。

文化芸術の秋、 グラントワを満喫しよう!

古典芸能&地域の伝統芸能のコラボイベントと
毎年恒例のグラントワ感謝イベントの2本立て。

中世の薫り漂う古典芸能「能」と、地域の伝統芸能「石見神楽」を楽しんだあとは、家族そろって、グラントワに遊びにきんさい。

もうすぐ!
出番です!



坂本頼光
(活動弁士)

えっ、もう……!? そんな心境です。3月に伺ったばかりです。

話芸の神様と言われた往年の名弁士・徳川夢声翁を生んだ御当地では、過去、無声映画の上映会を皮切りに、3回のギャラリー・トーク、そして本2月には活弁のワークショップをやらせて頂きました。参加者は、下は小学生から上は演劇経験もある成人裸足の語り好きまで多士済々。皆さん、練習でも本番でも、教える方の私が色を失う事屢々の熱心さで「次回もあれば是非やりたい」と気炎万丈。この分では、現在全国に約10人という弁士の数が、遠からず増えるのではないかと。コリャ嬉しいような、恐いような……。

サテ11月には、飯南町に長く保存されていた貴重な無声映画(吉岡フィルムコレクション)と、不肖私の筆による、益田の歴史を綴った絵物語の上映会が、グラントワ大ホールにて行われます。勿論、語りと演奏は生!!

宜しくお運びの程を願っておきます。

※今回の無声映画上映は、飯南町教育委員会所属フィルムにより行います。

坂本頼光 SAKAMOTO RAIKOU
1979年、東京生まれ。2000年デビュー。これまでの説明作品は『鞍馬天狗』『カリガリ博士』他、約60本。最近では東京スカイツリーのマスコットの声優、CMのナレーション等、活動の幅を広げている。特技はイラスト。

益田市制施行60周年記念/益田市文化協会設立30周年記念/益田商工会議所創立60周年記念 秋季室町文化フェスティバル

9月27日(木)

二部構成でお届けする秋の室町文化フェスティバル。石見神楽「貴船」は、蠟燭能「鉄輪」を原典に創られたもので、現在も地方の伝統芸能として伝えられています。時代を超えて繋がる伝統芸能をご照覧ください。

第一部 能楽三流派(観世・宝生・喜多)交流会

コラボ・創作柿本人麻呂

詩吟&剣舞/仕舞&謡曲

地方の伝統芸能 匹見神楽社中
石見神楽「貴船」

小ホール 開場 12:30/開演 13:00 入場無料



石見神楽「貴船」



野村高彦

栗谷能夫

第二部 能楽の祭典 蠟燭能

大ホール 開場 17:30/開演 18:00

[演目]舞囃子 松風/狂言 蚊相撲/蠟燭能 鉄輪

[出演]狂言師・野村高彦/能楽師・栗谷能夫

みさき美術館に よいて

名画をいろいろ
話芸と音楽 vol.4
「益田兼堯・
元祥像に挑む!」
11月11日(日)
18:00 開演
会場:グラントワ
大ホール



出演者メンバー(左から):坂本頼光(活弁)、大口俊輔(ピアノ)、小林武文(パーカッション)、鈴木広志(サクソ)

「名画をいろいろ話芸と音楽 vol.4」について、担当学芸員の川西さんにきいてみました。

Q1. 題材になるのはどんな作品ですか?

益田の歴史を語る肖像画、雪舟筆《益田兼堯像》(益田市立雪舟の郷記念館)と、狩野松栄筆《益田元祥像》(島根県立石見美術館)、2点の重要文化財です。描かれたのは益田氏15代目と20代目のお殿様、描いたのは日本美術史上のビッグネームという豪華コラボです。

Q2. 展示室ではなくホール公演となる今回のみどころは?

活動弁士の説明とオリジナル曲の生演奏で美術を楽しむ催しは4回目ですが、今回は坂本頼光さんが2人の殿様が登場する映像を制作し、自ら活弁で声をあてるといった画期的な内容です。もちろん音楽チーム作曲の生演奏とともにお届けします。自主制作アニメで多くのファンを持つ坂本さんの新作、ワクワクしますね!あわせて活弁本来の魅力が味わえる戦前の無声映画の上映もある、豪華版です。

The 石見美術館 わたしのおすすめ Collection

主任学芸員 川西由里

益田元祥は豊臣秀吉の九州攻めや文禄・慶長の役で軍功をあげた武将です。狩野松栄は、信長や秀吉に仕えた絵師として有名な狩野永徳の父親。豪放な永徳に比べ温和な画風が特色です。この絵でも鎧兜が繊細に描かれ、特に兜の龍の飾りが見事です。鞍と鎧には益田家の家紋が入っています。描かれたのは元祥が20代後半から30代前半の頃。きりっとした二重まぶたの目と上品な口元の、戦国武将の肖像画中でも一、二を争う美



重要文化財

狩野松栄

《益田元祥像》

天正10~20年(1582~92)頃

男子ぶり。高名な絵師に肖像を描かせられる権力と財力を持っていた証でもあります。このたび本格的な修理を経て、一層晴れやかになった姿をお披露目することとなりました。

劇団四季ミュージカル

王様の耳はロバの耳

2012年12月8日(土)

いわみ芸術劇場大ホール 開場15:30/開演16:00

入場料およびチケット発売日は、決定次第、HP等でお知らせします。

毎年大きな感動を届けてくれる劇団四季ミュージカル公演が今年も上演決定! 古代ギリシャの同名の神話をもとに、大人も子どもも楽しめる作品です。テーマは「本当のことを言う勇氣」、みんなの声は王様に届くのでしょうか?

撮影:阿部尊仁(これまでの公演より)

島根邦楽集団

結成7周年記念演奏会

2012年9月30日(日)

いわみ芸術劇場大ホール 開場13時/開演13時30分

入場料全席自由席 一般500円(会員400円)

大学生・4歳 無料(要整理券)

※1歳未満のお子様のご入場はご遠慮願います。

チケット発売中

平成23年度島根県文化奨励賞を受賞した島根邦楽集団の繊細かつ迫力のある演奏と、箏や尺八の邦楽器とヴァイオリンなどの洋楽器が織り混ざった独特の音色や、合唱と邦楽のコラボレーションによる邦楽の可能性などを堪能ください。

石見美術館コレクション展

展示室 A

コレクション展 わんこにゃんこ
8月22日(水)~10月1日(月)

コレクション展 描かれた女性たち
11月30日(金)~2013年1月14日(月・祝)

ドレスアップした姿から、何気ない日常の仕草まで、様々な女性たちを描いた日本画、洋画を展示します。

坂本千花俊(揚々鏡)

展示室 B

コレクション展 森 英恵
9月5日(水)~10月29日(月)

コレクション展 重要文化財 益田元祥像
10月31日(水)~12月3日(月)

※「The Collection わたしのおすすめ」参照

森 英恵
イブニング・ドレス(赤い蝶のドレス)

展示室 C

コレクション展 版画とポスター
8月29日(水)~10月3日(水)

画像を複製化するための手段として発達してきた版画。本展では当館の所蔵作品の中から、国内外の版画と版画の技法を使ったポスターの名品をご紹介します。

特別展 澄川喜一 彫刻展
—そりのあるかたち—
10月6日(土)~12月24日(月・祝)

アン・ド・トゥールーズ=ロートレック(ティファニー・ジャポネ)

水彩画の透明感が気持ちよかったです。イギリスにおける水彩画の遍歴や、ターナーという一人の画家の人生を垣間見ることができ、とても勉強になりました。(20代 女性/「マンチェスター大学ウィットワース美術館所蔵 巨匠たちの英国水彩画展」)
洋楽もよく知らない私ですが、とても楽しく良い時間でした。(泣いて笑ってでした)(40代 女性/「綾戸智恵 Wonderful World コンサート」)
感動!! 久しぶりにときめきました。又このような感動もが見たいです。(60代 女性/「グラントワシアター」はやぶさ 遅かなる帰還)

